

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）事業概要

交付対象事業の名称等	「御食国若狭おばま」観光デザインプロジェクト
------------	------------------------

経費内訳

2024年度（3年目）

全事業期間における 本年の位置付け	これまでの取組みにより得られた成果や課題に対応した事業のブラッシュアップにより、歴史文化や食を活用した観光商品や観光ツアー、体験観光プログラム等のさらなる造成により、日帰りから宿泊へのシフトを図り、北陸新幹線敦賀開業による観光誘客の効果を地元産品の消費拡大につなげる。
----------------------	--

事業開始期間	2024年4月
事業終了時期	2025年3月

交付事業費におけるソフト事業経費		15,676千円
1	<p>観光コンテンツ開発・造成事業</p> <p>文化財の活用資金調達に向けた返礼品造成や歴史文化ストーリーの魅せ方に関して調査・分析・助言を実施するとともに、活用プランの実施に必要な消耗品、備品等や自己資金にかかる返礼品制作や手数料等を補助する。また、重点支援DMOと連携し、これまでの取組みで開発した着地型観光コンテンツと食観光を組み合わせた商品を開発し、あわせて食観光を組み合わせたインバウンド獲得のためのファムトリップ等を実施し、観光誘客を促進する。</p> <p>（1）自己資金調達プラン実施促進に向けた調査委託料 693千円</p> <p>（2）歴史遺産活用プラン環境整備補助金 400千円</p> <p>目的:文化財を特別な空間として活用するための環境整備促進。内容:文化財の活用に必要な備品や工事、修繕等への補助。対象:市内文化財所有者、市内文化財活用団体。補助率:3/4。補助上限20万円。</p> <p>（3）自己資金調達プラン実施補助金 400千円</p> <p>目的:文化財保存活用のための自己資金調達に向けたクラウドファンディング促進。内容:クラウドファンディング促進のための返礼品制作や専門家謝礼等への補助。対象:市内文化財所有者、市内文化財保存活用団体。補助率:3/4。補助上限40万円。</p> <p>（4）食と連携した着地型観光コンテンツ開発・ファムトリップ実施・誘客促進委託料 2,844千円</p>	4,337千円

2	<p>「食」を核とした地域資源魅力アップ事業</p> <p>京都料理人等と連携した地元食材のPRイベントに参画するとともに市民参加型の情報発信ができる場所を整備し、活用講習会を実施する。また、首都圏を中心とした食の情報発信、交通・旅行事業者等と連携した食観光商品の造成や体験観光プログラムの造成費用等を補助する。鯖の人工種苗を効率的かつ早期に成長させるため、3年目は給餌量による成育試験研究を実施する。</p> <p>(1) 地元製品の販路開拓・情報発信委託料 1,100 千円</p> <p>(2) 市民参加型情報発信環境整備・講習会・WEBサイト情報発信委託料 1,144 千円</p> <p>(3) 食の情報発信・食観光ツアー造成・体験観光プログラム造成等補助金 3,900 千円</p> <p>食の情報発信・食観光ツアー造成への補助。目的：北陸新幹線敦賀開業を契機に観光の目的地として選ばれるよう食の情報発信・食観光ツアーの造成を支援し観光誘客を図る。内容：ツアーの企画・実施、食観光による情報発信に係る費用等への補助。対象：商工や農業・水産関係者等で構成する実行委員会。補助率：10/10。補助上限：予算の範囲内。</p> <p>体験観光プログラム造成への補助。目的：小浜でしか体験できない「食文化」「歴史・伝統」「自然」「産業」など魅力ある地域資源を取り入れた体験プログラムの開発を支援し観光誘客を図る。内容：体験メニューの開発、宣伝ツールの作成、必要な知識・技能の習得に係る費用等への補助。補助率：1/2 または 2/3。補助上限：30 万円。</p> <p>(4) 鯖養殖技術研究開発委託料（給餌量による成育試験等） 5,195 千円</p>	11,339 千円
---	---	-----------

先導性に係る取組

自立性	<p>新たな観光コンテンツを開発・販売し、観光誘客につなげるほか、併せて自己資金調達の方法を学ぶ機会を提供するなど、自立に向けた取組みを並行して行う。</p>
官民協働	<p>民間は自然、歴史文化など、豊富な地域資源を活用した観光コンテンツ等の開発・造成を行い、行政は関係者の連携に向けた場の設定や勉強会の開催、食材の技術研究開発等、地域資源の研き上げや新たな観光コンテンツ等の開発につながるきっかけづくりのほか、観光誘客に向けたシステム構築や情報発信等を行い、必要に応じてサポートや支援等を行う。</p>

<p>地域間連携</p>	<p>小浜と京都を結ぶ鯖街道の起点・終点地という食を通じた歴史的・文化的なつながりを活かし、京都のレベルの高い料理人との連携による地元食材や地元飲食店のレベルアップを図り、本市食材のポテンシャルを生かした食の提供による観光誘客拡大につなげる。さらには地元生産者の収益向上による農林水産業の振興を図り、京都への食材の継続的・安定的供給とブランド向上につなげる。</p>
<p>政策・施策間連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財所有者と住民・企業・団体等の連携による歴史遺産を活用した新たな観光プランを開発し、観光誘客を図る。（文化振興と観光振興の連携） ・生産者や料理人、重点支援DMO、旅行・交通事業者等の連携による新たな観光コンテンツ、お土産品等を開発し、観光誘客を図るとともに、観光事業における地元産品の消費拡大による一次産業の収益安定化を図る。（観光振興と農林水産業振興の連携）